

序文

オーストリアの哲学者であるルドルフ・シュタイナー博士（一八六一—一九二五）と、オランダのイタ・マリア・ヴェーグマン医学博士（一八七六—一九四三）によって、アントロポゾフィー医学は一九二一年にスイスで創始されました。この医学においては、現代の学術的な医学を、アントロポゾフィーの霊学とルドルフ・シュタイナーの哲学とに結びつけた西洋医学が問題となります。アントロポゾフィーとは、ギリシア語の「人^{アントロポス}」と「叡智^{ゾフィー}」という二つの言葉を合わせた人智学という意味です。

はじまって九十二年になるこの医療システムは、今では六十を越える国々に広がっており、五

大陸のすべてに及んでいます。現在、アントロポゾフィー医学を代表する人々は、主にドイツ、スイス、オランダ、ブラジルで活動しています。(詳細は以下のサイトをご覧下さい。 www.jvba.info 及び www.medsektion-goetheanum.org) この医療を行う大規模病院はドイツ、スイス、スウェーデンにあり、ドイツのヘルデッケやシュトゥットガルトには、地域医療を担う病院として設立されたものもあります。アントロポゾフィー医療の医薬品として特に知られているのはイスカドルであり、他にもヘリクソール、ヴィズムアブノバといったヤドリギ調整剤があります。これらは癌の治療と、生活の質の改善において効果があることが証明されており、またいくつかの研究において寿命を延ばす効果のあったことが証明されています。(www.mistel.de)

そして多くの国々にアントロポゾフィー医学を実践する診療所があり、芸術療法や新しい運動療法であるオイリュトミー療法、またバイオグラフィック、ヴェーグマン／ハウシユカ式マッサージによる補完と、健康指導や病気の予防、家庭のための衛生教育も行っています。

この医学の全体的なコンセプトの中で重要なものの一つは、多くの国ではキャンピルと呼ばれる治療教育と、ソーシャルセラピーです。ルドルフ・シュタイナーが創始したヴァルドルフ学校運動との協働の中で、衛生教育のコンセプトが発展し、そしてそれによって一次予防と、

後の人生における健康への配慮に対して大きな貢献をすることができました。(詳細は以下の本をご参照ください。ミヒャエラ・グレックラー／ヴォルフガング・ゲーベル共著『小児科診察室』邦訳、入間カイ訳、水声社刊) 同様に、バイオダイナミック農法とも密接なつながりがあります。この農法は、健康に良い食品を生産するだけでなく、土壌を肥沃にすることや、単作物と殺虫剤や化学肥料の大量投与によって害を受けている大地の再生のためにも、貢献したいと思っています。(日本バイオダイナミック協会 www.baai.jp)

アントロポゾフィー医師になるための養成は、正規の医学教育を終了し、さらに必要な専門医教育を受けた医師であることが前提となります。アントロポゾフィーは、人間の本質について、体質との相互作用の中で身体的魂的に発展するものについて、そして人間と自然と宇宙の総合的な進化についてのシュタイナーの霊学的な研究による認識を付け加えます。この精神的な方向づけにおいて、アントロポゾフィー医学は古代の霊的な美術との共通性が多々あります。それはたとえば、伝統的な中国医学やアーユルヴェーダです。しかしアントロポゾフィー医学はこれらの美術とは異なり、アカデミックな医学の中へ言語的、思想的に完全に統合されることができません。日本におけるアントロポゾフィー医学の養成と発展は「日本アントロポゾフィー医学のための医

師会」 (<http://j-paam.org/>) が責任を担っています。

読者はすぐに気づかれると思いますが、この本は原書に忠実に翻訳されています。原書は一九二五年に出版されています。それ以降、医学は目覚ましい発展を遂げているにもかかわらず、なぜこの本はそのままなのでしょう。たとえば、第八章の糖尿病に関して言えば、新しい地点から述べられても良いのではないのでしょうか。この問いはまったく正当です。それに対する答えは、「この書物では、新しい医療の方向性全体に対する考え方の、出発点を呼び出すことが重要である」ということなのです。本質的なことはすべて、短く素描的ではあっても、この書物の中に書かれています。このことよってこの書物は、時間を超越した特性を持っているのです。そしてこの特性が、本書の中で展開されている病気と健康に関する考えと、医学的な研究の新しい立場との対話を可能にします。つまり、現代の自然科学的な医学に関する知識が広がれば広がる程、本書の著者の霊的な観点とそれは一致するのです。

まだあまりこの医療について詳しくない読者の方に対して、それぞれの章について、自然科学的な医学と、霊学的アントロポゾフィーの医学の間に橋を架け、そしてそれらの相互関係を詳細に理解することを可能にする注釈が書かれる必要があります。それが今後の課題です。

健康的でサルトル・ジェネシスのなアントロポゾフィー医学が、日本で友人を見出すことができ
るように願っています。日本には精神的な伝統と文化が数多くあり、それらは現代の近代科学的
な意識との間に橋を架けたいと願っているのではないのでしょうか。

本書を翻訳された二人の訳者と、この本を出版するために尽力された方々に心より感謝の気持
ちを捧げたいと思います。

二〇二二年十二月 ドルナツハ／スイス

ゲーテアヌム医学部門代表

医学博士 ミヒャエラ・グレックラー